

No.111

さいばい ニュース

公益財団法人
神奈川県栽培漁業協会

発行所 〒238-0237
神奈川県三浦市三崎町
城ヶ島養老子
☎ 046(882)6980
FAX 046(881)2233
http://www.kanagawa-sfa.or.jp

今年度からマダイ種苗生産と放流法の変更

陸上で中間育成、岸壁から放流



トラックで運び岸壁から放流

マダイの種苗生産の工程を今年度から変更しました。今までは、受精卵から全長20mmぐらいの大きさまで、陸上の40mの水槽で飼育していましたが。その後、三浦市にある小網代湾に浮かべた筏にモジ網を張って、全長六十mm以上になるまで育成し、四百トンの活魚運搬船で移送し、横浜市金沢区八景島沖から静岡県との境にある福浦まで十数か所に放流してきました。

しかし、小網代の中間育成筏が老朽化し、修理をしても、すぐに壊れてしまう状態になってきました。また、中間育成網の交換に少なくとも四人以上の人員が一週間に何回か必要となっていました。さらに、中間育成網の洗浄と修理に多くの労力が必要であり、作業員の確保に課題がありました。そして、活魚運搬船を一日借り上げる経費と小網代の岸壁使用料、倉庫、休憩室の借り上げなど経費がかさんできていました。

陸上水槽で全長六十mm以上まで飼育し、活魚トラックで県下各地の地先の海に放流する方式に変更しました。活魚トラックで各地にマダイ稚魚を運び、久里浜以外の場所では、ホースで活魚車から海へ直接放流しました。マダイ種苗の活力は、タモや網に直に接すると傷がつき、放流後の生き残りが悪くなります。また、漁港内に放流すると釣り人が稚魚を釣り上げてしまうとの心配をする漁業者がいます。もちろん、稚魚を釣り上げられることは外ですが、船で沖合に放流することも危険性を持つています。それは、放流直後のマダイ稚魚は、狂奔状態で、定置網や底引き網などに大量に混獲されてしまうことがあるからです。

新型コロナウイルスが世界中に感染拡大し、人々を恐怖のどん底に引きずり込んでいた。それでも過言ではないといえましょう。今のところ神奈川県下の水産業界に感染が広がっている、というニュースは聞こえてきませんが、一人一人が三密を心掛け、必ずマスクをつけ、手洗い・消毒が大切です。水産関係者の新型コロナウイルスの感染拡大はないといっても、水揚げした魚介類、特に高級魚の値段が極端に安くなる、といった厳しい状況になっていることは確かです。▼寿司店や魚料理店、旅館やホテルなど、魚介類をお客さんに提供している業種の営業自粛が魚価安に影響しているものとみられます。▼「巣ごもり」している家庭への宅配便などによる配達を行う水産関係者もいるようですが、景気の回復には程遠く、一向に収まらない新型コロナウイルス感染拡大に手の施しようがないというのが現状です。▼当協会でも、県下各地で行われるはずだった種苗放流のイベントが、昨年はほとんどが中止になってしまふ、という思わぬ事態に陥りました。▼県下水産業界としては、新型コロナウイルスの特効薬が開発され、この病が終息に向かうことを願わずにはいられません。

新年のご挨拶

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会

理事長 高橋 征人



新年あけましておめでとうございます。

私は、昨年六月の理事会で理事の互選により公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の理事長に就任しました。栽培漁業協会の事業にたいして、皆様のご理解と多大なるご支援を頂きたく、よろしく

お願いいたします。神奈川県の沿岸漁業は、昨年春からの新型コロナウイルス感染症の広がりにより、多大な影響を受けました。飲食業、宿泊施設などの業務が縮小され、中高級魚の需要が低迷し、卸売り価格が平常の二分の一から三分の一に下落し、漁業収入の低下があり、経営に打撃を受けています。

新型コロナウイルス症は、ワクチンが日本国民だけでなく、世界の国々の人々に行き渡ってはじめて

資源管理方針を定め、漁獲可能量管理を行うとともに、令和五年度までに漁業者は資源管理協定を作成して漁獲努力量による管理を行うこととなります。

このように、ポストコロナの漁業は今まで行ってきた自主的管理から漁獲可能量管理に移行することで漁獲量の減少に歯止めをかけ、漁獲量の維持を図る制度に移行します。その手段として、放流効果が認められている種類については種苗放流による資源の維持、増大を目指しましょう。

皆様方も引き続き新型コロナウイルスに感染しないよう心掛けてください。大漁を祈念して新年のご挨拶とします。

もともと、マダイの稚魚はアマモ場や褐藻が分布している水深5mぐらいのところに生息しています。このような場所は、隠れ場となり、マダイ稚魚の餌となるヨコエビやワレカラ、多毛類などが豊富にある場所です。陸上に近い所です。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

騒潮

新型コロナウイルスが世界中に感染拡大し、人々を恐怖のどん底に引きずり込んでいた。それでも過言ではないといえましょう。今のところ神奈川県下の水産業界に感染が広がっている、というニュースは聞こえてきませんが、一人一人が三密を心掛け、必ずマスクをつけ、手洗い・消毒が大切です。水産関係者の新型コロナウイルスの感染拡大はないといっても、水揚げした魚介類、特に高級魚の値段が極端に安くなる、といった厳しい状況になっていることは確かです。▼寿司店や魚料理店、旅館やホテルなど、魚介類をお客さんに提供している業種の営業自粛が魚価安に影響しているものとみられます。▼「巣ごもり」している家庭への宅配便などによる配達を行う水産関係者もいるようですが、景気の回復には程遠く、一向に収まらない新型コロナウイルス感染拡大に手の施しようがないというのが現状です。▼当協会でも、県下各地で行われるはずだった種苗放流のイベントが、昨年はほとんどが中止になってしまふ、という思わぬ事態に陥りました。▼県下水産業界としては、新型コロナウイルスの特効薬が開発され、この病が終息に向かうことを願わずにはいられません。

公益社団法人
全国豊かな海づくり推進協会

会長 岸 宏

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町九一六
小伝馬町松村ビル六階
TEL 03-5651-3500
FAX 03-5651-3502

東京湾遊漁船業協同組合

理事長 飯島 正宏

〒140-0013
東京都品川区南大井一十九六
TEL 03-6423-1091
FAX 03-6423-1097

環境保全と水産業の振興を
公益財団法人
相模湾水産振興事業団

理事長 武井 正

〒250-0021
小田原市早川一〇〇一
TEL 0465-225989
FAX 0465-335514

相模湾遊漁問題
対話推進協議会

会長 久保田源太郎

〒250-0021
小田原市早川一〇〇一
TEL 0465-225989
FAX 0465-335514

全国においしさを運びます
タムラ運輸サービス株式会社

代表取締役 田村 琢馬

本社
〒239-0831
横須賀市久里浜一〇〇〇二二
TEL 046-834-1000
FAX 046-834-1510
■長井営業所
〒238-0316
横須賀市長井五三三六
TEL 046-857-4664
FAX 046-857-4669

公益財団法人
神奈川県栽培漁業協会

〒238-0237
神奈川県三浦市三崎町
城ヶ島養老子
TEL 046-882-6980
FAX 046-881-2233

かながわ漁業就業促進センター 研修生が当協会を訪問



波板組み立てを体験

神奈川県が神奈川県漁業協同組合連合会に委託して行っている「2020年度かながわ漁業就業促進センター」の研修生三人が、昨年十月に当協会に研修に来ました。

研修したのは、栽培漁業とはどういうことを行っている、神奈川県沿岸漁業にどのような関わっているかを座学で理解していただきました。次に、実習としてアワビの種苗生産で稚貝を育成する波板の組み立てを経験してもらいました。彼らが、漁業者になったときにこの経験が何らかの役にたつことを期待しています。研修生は昨年十月、漁業者として生活していくために必要な基礎知識を習得するため、県下漁業に関わる資源管理、漁協組織、漁法・水産物販売

などについて座学講習を受けました。その後、当協会をはじめ水産技術センター、漁港事務所、水産加工施設、漁協などを訪問、漁業経営や漁具メンテナンスなどを学びました。引き続き今年三月まで漁業現場で体験研修を行うこととなりますが、すでに一人の研修生は相模湾の定置網に就職し、働き始めています。残りの二人のうち一人は、東京湾でタコ壺漁やタチウオ引き釣り漁業を行って

西湘で刺網や釣り漁業を実施しています。研修生は、今年度初めて同センター事業をスタートさせ、就業に必要な知識や技術資格を身につける研修を行っています。



「箸置き水族館」を出版

元神奈川県水産課長や同県水産技術センター所長を歴任した岡村氏がこのほど、合計100の魚類や水生生物の箸置き写真を掲載、生態などを詳しく解説した「箸置き水族館」を出版しました。同書の内容は、アイナメ、アジ、ワカサギなど魚類七十二種類、サンゴ、その上で例えばアジは、くせがなく刺身、塩焼き、煮魚、フライ、天ぷら、干物など多様な食べ方があるなど、百種類をわかりやすく紹介しています。



食害に会い砂漠化した人工礁

地球温暖化の影響が身近に忍び寄っています。アマモの消滅は、マダイやメバルなどの栽培対象種の稚魚が隠れ、餌を供給する大切な海草です。さらに、アオリイカの産卵場として重要な場所です。

また、地球温暖化の原動力であるCO2を光合成で吸収するブルーカーボンとしてのアマモとカジメやホンダワラ類の機能が注目されています。これら、栽培漁業を振興するため水産資源のゆりかごである藻場を回復する努力と種苗放流する場の回復努力をしていくことが今こそ必要です。

神奈川県水産課は昨年九月、横須賀市長井町・房竹丸の宮川聡船主を講師に、「2020年度第一回漁業体験研修」を開催しました。二十歳から五十歳代の七人が参加し、第一房竹丸に乗り、長井町沖に出てタコ壺漁を実際に体験しました。また、刺網漁の操業を見学、宮川船主から説明を受けました。

体験研修に参加したのは相模原市から来たという大学生の女性二人のほか、漁業に興味があるのか、という東京都などから来た男性が五人でした。宮川船主が「私自身も他の仕事を止め漁師になりました」などと話した

後、一行は第一房竹丸に乗って沖へ向かい、網の近くに行き、宮川船主から定置網の仕組み、網締など操業について説明を受けました。引き続き、刺網の網揚げ作業でカワハギ、イセエビ、サザエ、アイゴなどが掛かっているのを見学した研修生は、次いで行われたタコ壺の引き上げ作業には二人が体験しました。

漁業体験研修 タコ壺漁など学ぶ



タコ壺漁を体験

洋上での研修を終えた一行は長井港に帰港し、午後は宮川船主から視察か、漁業の説明を受け、同漁業で使用する竿を持った研修生は、その重さに驚くなど、参加者は神奈川の沿岸漁業を一日かけて体験しました。

栽培漁業に欠かせない 幼稚仔の成育藻場回復を

三浦半島では、最大のアマモ場があった小田和湾や小網代湾、諸磯湾などが、平成二十一年くらいからアマモが消えてしましました。また、かつ

では、ほとんど砂漠化してしまいました。アマモやアラメ・カジメなどの海藻や海藻は水産資源の餌の供給や隠れ場を形成していました。この消えてしまった原因はアイゴの食害で、沖縄や九州に主に分布していたアイゴが関東まで分布域を広げ、産卵し、稚魚が育つ環境に変化したためです。

また、地球温暖化の原動力であるCO2を光合成で吸収するブルーカーボンとしてのアマモとカジメやホンダワラ類の機能が注目されています。これら、栽培漁業を振興するため水産資源のゆりかごである藻場を回復する努力と種苗放流する場の回復努力をしていくことが今こそ必要です。

また、地球温暖化の原動力であるCO2を光合成で吸収するブルーカーボンとしてのアマモとカジメやホンダワラ類の機能が注目されています。これら、栽培漁業を振興するため水産資源のゆりかごである藻場を回復する努力と種苗放流する場の回復努力をしていくことが今こそ必要です。

また、地球温暖化の原動力であるCO2を光合成で吸収するブルーカーボンとしてのアマモとカジメやホンダワラ類の機能が注目されています。これら、栽培漁業を振興するため水産資源のゆりかごである藻場を回復する努力と種苗放流する場の回復努力をしていくことが今こそ必要です。

また、地球温暖化の原動力であるCO2を光合成で吸収するブルーカーボンとしてのアマモとカジメやホンダワラ類の機能が注目されています。これら、栽培漁業を振興するため水産資源のゆりかごである藻場を回復する努力と種苗放流する場の回復努力をしていくことが今こそ必要です。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

神奈川漁業協同組合連合会
代表理事 高橋 征人
〒236-0051
横浜市金沢区富岡東二丁目二二
TEL 045-773-1677

日本漁船保険組合
神奈川支所
運営委員長 鈴木 清
〒236-0051
横浜市金沢区富岡東二丁目二二
TEL 045-773-1677

神奈川漁業無線協会
一般社団法人
会長理事 小山 恭弘
〒238-0232
三浦市晴海町一七
TEL 046-882-2784
FAX 046-882-2513

東京湾南部水産振興事業団
一般財団法人
理事長 岩崎 一郎
〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜八一九五
TEL 046-834-3596
FAX 046-834-3690

神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会
会長 杉山 武
〒254-0803
平塚市千石河原二八一三
TEL 046-311-0146
FAX 046-311-2579

神奈川県漁業無線協会
一般社団法人
会長理事 小山 恭弘
〒238-0232
三浦市晴海町一七
TEL 046-882-2784
FAX 046-882-2513

神奈川漁業無線協会
一般社団法人
会長理事 小山 恭弘
〒238-0232
三浦市晴海町一七
TEL 046-882-2784
FAX 046-882-2513

日本漁船保険組合
神奈川支所
運営委員長 鈴木 清
〒236-0051
横浜市金沢区富岡東二丁目二二
TEL 045-773-1677

神奈川漁業協同組合連合会
代表理事 高橋 征人
〒236-0051
横浜市金沢区富岡東二丁目二二
TEL 045-773-1677

神奈川県栽培漁業協会、昨年後半の種苗放流・供給事業

県下の海の水産資源の維持・増大のために
ヒラメ・クロダイ・カサゴ・メバルなど



ヒラメ

神奈川県栽培漁業協会は昨年後半、種苗放流、供給・斡旋事業でヒラメから始まりカワハギまで多くの種苗の放流に参加・協力しました。

引き続き、七日には当協会の種苗放流事業での一万余、横須賀市西部水産振興事業団四千、



マコガレイ

長井町漁協三千尾、小田和湾に当協会五千、事業団四千、大楠漁協千九百尾のヒラメ種苗を放流しました。

また、同日、当協会が協力して、茅ヶ崎市漁協(三千尾)、江の島片瀬漁協(九千六百二十尾)のヒラメ種苗を放流していま



クロダイ稚魚

同日、東京湾黒鯛研究会も横浜市野島地先で九千尾のクロダイ種苗を放流しました。いつもは地元

また、同日、当協会が協力して、茅ヶ崎市漁協(三千尾)、江の島片瀬漁協(九千六百二十尾)のヒラメ種苗を放流していま



メバル

八百尾を放流しました。二十五日には日本釣振興会神奈川県支部が横須賀海辺釣り公園でカサゴ種苗を放流しました。例

また、同日、当協会が協力して、茅ヶ崎市漁協(三千尾)、江の島片瀬漁協(九千六百二十尾)のヒラメ種苗を放流していま



カワハギ稚魚に標識を付ける

このころ養鰻池では水質を安定させるためアオコを発生させていました。アオコを発生させていたが、そのアオコが急激になくなる原因としてシオミズツボワムシが大量発生し、「水換」として恐

栽培漁業つて何

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会 専務理事 今井利為

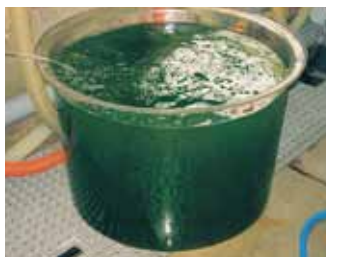
マダイ⑨

丁度ベトナム戦争が行われていた時代でした。ワムシは独特の生活史をとりま

その後の、種苗生産数に年変動はありますが、次第に数を増し、八十万尾から百二十万尾の幅で放流されています。



シオミズツボワムシ



(つづく)

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

焼肉食堂 げんこつや ※葉山牛カルビ 一、一〇〇円 店主 石坂 幸央 TEL 2400-0104

有瀬戸漁業センター 代表取締役社長 藤木 治夫 TEL 72010203

クロレラ工業株式会社 営業本部技術特販部 TEL 8333-0056

株式会社 鈴木組 代表取締役 脇山 俊 TEL 2591-0201

株式会社リビエラリゾート シーボニアマリナー TEL 2381-0225

神奈川県下漁港めぐり・・・シリーズ⑨

相模湾の
ほぼ中央にある「茅ヶ崎漁港」

シラス船曳網漁業などの拠点として貢献



茅ヶ崎漁港

相模湾の沿岸のほぼ中央部に位置し、シラス船曳網漁業などの拠点として重要な役割を果たしている漁港です。同市唯一の漁港で、茅ヶ崎市の漁業者にとりなくてはならない施設です。その利用範囲が地元の漁業を主とする第一種漁港に昭和二十六年に指定されました。そして現在では、防波堤、護岸、波除堤、物揚場、船

揚場、荷捌所などが整備され、使い勝手のいい漁港として各種漁業の操業を支えています。そして、茅ヶ崎市では沖の海での釣りや磯釣りの人気が高く、多くの釣り人が来るため、渡船や遊漁船業も盛んに行われています。

また、沖に茅ヶ崎のシンボルともいえる「烏帽子岩」があり、そこを周遊する船も茅ヶ崎漁港を出発点にしています。海上から江の島や富士山をながめることができる、と人気になっています。

茅ヶ崎市漁協は六月と十月の年二回、主に相模湾で獲れた魚介類を販売する「さかなの市」を開催しますが、新鮮な魚や地元の漁業者が獲ったシラスも人気で多くの消費者が詰めかけます。

さらに、二月には「生わかめまつり」が行われ「烏帽子岩」周辺で養殖した「えぼしわかめ」の販売も行われます。



荷捌所

協会の事業を支える栽培寄付

昨年もシマノ、KTグループから

当協会の主要事業である各種水産種苗の生産・放流などを支援しようと、十三年から寄付を続けて引き続きシマノ、KTグループから「種苗放流に役立ててほしい」と寄付をいただきました。

シマノ

釣り具メーカーとしてわが国では最大手のシマノは、「マダイ資源の維持・増大に役立ててほしい」と

KTグループ

KTグループの神奈川県トヨタ商事(株)の黒田圭次郎社長と同グループの上野建彦代表が当協会を訪れ、合計十五万円を寄付

小網代パール海育隊
マダイ種苗放流体験会
小学生が参加して



小学生がマダイ種苗放流

約九センチに育った大きな種苗です。小さなバケツに数匹のマダイ稚魚を入れた

神奈川県三浦市の小網代パール海育隊(出口浩代表理事)は昨年九月、小網代湾で小学生三十一人が参加する「マダイ種苗放流体験会」を行い、合計三百尾のマダイ種苗を放流しました。

なお昨年は、新型コロナウイルス感染症問題で放流イベントが行われたのはここだけでした。



放流会に参加したのと同市立名向小学校の三年生です。当協会が飼育していた

昨年、本号三面でも紹介しましたように、当協会自身の事業による放流も含め、漁業関係者などが当協会の供給・斡旋事業で入手した各種の種苗を放流したのは、前年とほとんど変わりませんでした。

ところが、昨年六月から十月まで、神奈川県下各地で十四回予定されていた種苗放流イベントは、

日本プレジャーボート協会が
マダイ種苗放流



KTグループから寄付

してくれました。黒田社長、上野代表は、プレジャーボートの販売を主事業としており、当協会の水産資源の維持増大への取り組みが、マリレジャーの楽しみを支える、として寄付を続けていた



マダイ種苗放流

日本プレジャーボート協会は、平成五年度から毎年、一万尾から二万尾のマダイ稚魚を三崎港周辺で放流してきました。

今年度はコロナの影響を考慮してテケテケ号と龍王丸のみで市民を乗船させず放流を行いました。龍王丸は今年度をもって引退することになり、今までの活動に対して感謝したいと思います。

編集後記

三浦市・小網代でのマダイ種苗放流イベント以外は全てが中止になりました。小網代の場合でも、一昨年は三浦市内の五つの小学校が参加したのですが、昨年は一校だけでした。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

Brine Shrimp EGGS-90
株式会社 北村
〒604-0051 京都市中京区二条油小路町291
TEL 075-221-6695

売上の一部が放流事業に寄付される自販機設置にご協力ください。
サントリービバレッジサービス株式会社
TEL 045-573-6366
FAX 045-573-2858

午後の紅茶®